

木津川市長 河井 規子 様

木津川市教育委員会教育長 森永 重治 様

木津川市文化財保護審議会会長 白石 太一郎 様

## 大坂城ゆかり “加茂町大野の残念石” 保存を求めます。

加茂町赤田川には約70個の残念石が埋もれており、昭和の赤田川改修の折りに調査が行われ、一部の残念石が関係機関や藤堂高虎公生誕地の滋賀県甲良町などに寄贈されるとともに、現在、約15個の残念石が加茂町大野の川原に展示・保存されています。

ところが、このたびの赤田川樋門改修完成に伴う府道天理加茂木津線バイパス整備により、これらの残念石の保存が危ぶまれています。もし、この残念石が地中に埋められてしまうと半永久的に観賞することができなくなります。

また、加茂を治めた藩主 藤堂高虎は二代将軍徳川秀忠により大坂城普請総指図役に任命された大坂城再建の立役者であり、この藤堂高虎による大坂城残念石は他大名のそれと比べ、より貴重な歴史遺産であると考えられます。また、自身も加茂の地・大野山から切り出した巨石を数千個も大坂城に運んでおり、当残念石に程近い大野山には切り出された巨石が残され、著名な学者の方のお話しによりますと「残念石と共に石切り場が近くに現存するのは大変貴重であり、国の指定史跡になり得るほどの価値を持つ」とのことです。

●先人が遺してくれた貴重な歴史遺産を後世に継承すべく、加茂町 赤田川の大野浜(宮ノ下浜)に残る残念石の保存を求めます。

●現在、全国各地にも残念石公園が整備され、その価値が見直されています。当市におきましても、この機に、残念石公園が整備され、大坂城再建の功労者・藤堂高虎公の説明板や石切り場としての大野山の存在が表記されることを要望します。

氏 名	住 所
	都 道 府 県
	都 道 府 県
	都 道 府 県
	都 道 府 県
	都 道 府 県

※ボールペンまたはサインペンでご記入ください。

※住所は都道府県から番地までお書き下さい。

※頂いた署名は、本件以外の目的では使用いたしません。

※署名用紙が足りない場合は、コピーしてご利用頂いてもかまいません。

<署名用紙送付先/お問い合わせ先>

NPO 法人ふるさと案内・かも 電話/FAX 0774-76-3989

〒619-1152 木津川市加茂町里中森 101 加茂青少年センター内